

# <センター通信 7月号>

## ～肺炎球菌ワクチンについて～

地域総合医療センター

藤崎 美沙子

皆さんは、肺炎予防の肺炎球菌ワクチンについてご存知ですか。2014年10月より高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンが定期接種化されます。今回は、肺炎球菌ワクチンについてご紹介します。



### ○まず、肺炎とは…

- ・肺炎は、肺に細菌やウイルスなどが感染したことで起こります。
- ・発熱、咳・痰、息苦しさなどの症状が出ます。

高齢者では、食欲がない、何となく元気がないという症状が前面に出ることがあります。

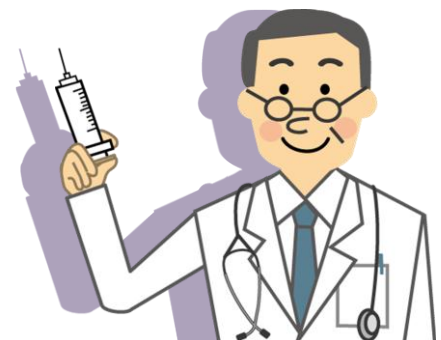
・肺炎は日本人の死亡原因の第3位(2013年)であり、そのうち96%以上が65歳以上の高齢者です。

・肺炎を起こす原因として一番多いのが肺炎球菌という細菌です。高齢者の肺炎の約30%は肺炎球菌による肺炎と考えられています。

### ○肺炎球菌ワクチンとは…

・肺炎球菌による肺炎を予防するワクチンです。ワクチン接種で肺炎球菌による肺炎の8割に効果があり、肺炎になった時に重症化するのを防ぎます。また、肺炎球菌以外が原因の肺炎にもかかりにくくなるといわれています。

・肺炎球菌ワクチンは一度接種すると5年間有効です。一度接種して5年以上たった場合はもう一度ワクチン接種をする必要があります。



### ○肺炎球菌ワクチンの定期接種化

- ・ 2014 年 10 月から以下の方を対象に肺炎球菌ワクチンの定期接種となります。
- ・ 65 歳以上の高齢者
- ・ 60 歳以上で心臓や腎臓、肺疾患をお持ちの方、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染で免疫機能に異常がある方

### ○肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチン

- ・ インフルエンザにかかった後に肺炎球菌による肺炎を起こすことがあり、肺炎が重症化することがあります。このため、肺炎球菌ワクチンと一緒に毎年冬にインフルエンザワクチンを接種することが勧められています。

### ○日常でできる肺炎の予防

- ・ ワクチン接種のほか、日常でできる肺炎の予防があります。
- ・ 手洗い、うがいをする、マスクをする
- ・ 歯磨きなどで口の中を清潔にしておく
- ・ 喫煙者は禁煙をする。
- ・ 規則正しい生活をする
- ・ 糖尿病や肺疾患などの持病の治療をする。

かかりつけの先生に肺炎球菌ワクチンについて相談してみましょう。

